

平成31年・令和元年度
にしわき経緯度地球科学館事業報告書



にしわき経緯度地球科学館

目 次

1 展示事業

- (1) 企画展事業 _____ 1
- (2) ギャラリー _____ 2

2 各種講座事業

- (1) 子ども科学教室 _____ 4
- (2) 夜のスターウォッチング _____ 5
- (3) 土曜ちょこっとサイエンス _____ 5
- (4) 親子星空探偵団 _____ 5
- (5) テラ・ドーム科学クラブ _____ 6
- (6) 大人のためのサイエンス講座 _____ 6
- (7) テラ・ドームクイズ _____ 7
- (8) プラネタリウムでの星の学習投影 _____ 7
- (9) 夏休み特別講座「音のふしぎ」 _____ 8
- (10) お天気教室in西脇 _____ 8

3 出前事業

- (1) 出前観望会 _____ 8
- (2) 出前講座 _____ 9
- (3) 協賛事業 _____ 10

4 普及事業

- (1) プラネタコンサート _____ 10
- (2) アポロ11号月面着陸50周年記念行事 _____ 11
- (3) 太陽系スタンプラリー _____ 12
- (4) プラネタおはなし会 _____ 11
- (5) テラ・ドーム星まつり _____ 12
- (6) 特別観望会「部分日食を見よう」 _____ 12
- (7) テラ・ドーム通信の発行 _____ 13

5 研修等の受け入れ

- (1) トライやる・ウィーク _____ 17
- (2) 教職員研修等 _____ 17

6 他施設との連携事業

- (1) 日本公開天文台協会（J A P O S）全国大会への参加 _____ 17
- (2) はりま宇宙講座 _____ 17

(3) ひょうごミュージアムフェア	18
(4) 第10回星なかまの集い	18
7 その他の事業	
(1) ふるさと納税天文台貸切対応	18
(2) 「宇宙の日」作文絵画コンテスト	18
(3) 日野北バイパス星の看板設置	19
(4) 兵庫県立西脇高等学校との連携	19
8 観測・記録・研究活動	
(1) 太陽観測	20
(2) 金星観測	20
(3) 月、惑星、人工衛星等の観測	21
(4) へそ公園周辺の動植物の観察と記録	22
9 報道等	23
10 施設利用状況	26
11 施設利用案内	27

1 展示事業

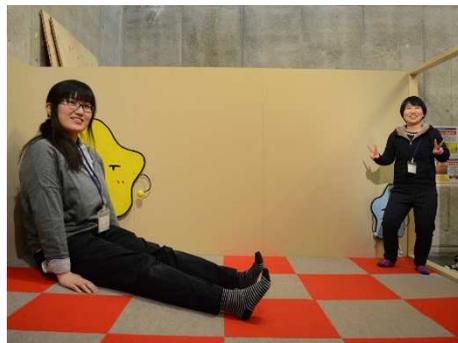
(1) 企画展事業

さまざまなテーマで来館者に自然や科学の面白さに触れていただく機会として、年4回の企画展を実施している。

◎ 「のぞいてみよう」展

片目でのぞくと立体感がなくなることを利用した展示物で視覚の不思議を体験した。

期 間 平成31年3月23日～令和元年6月24日
入場者数 大人 2,385 人、学生 48 人
小人 1,779 人、幼児 989 人
(平成31年度分)



◎ 「高山に咲く花々」展

日本の代表的な高山植物を40点の写真で紹介した。

期 間 令和元年7月13日～9月1日
写真提供：西脇市動植物生態調査研究グループ
入場者数 大人 1,850 人、学生 101 人
小人 1,598 人、幼児 693 人



◎ 「輪ゴムであそぼう」展

輪ゴムの性質を使ったおもちゃで遊びながら工夫する楽しさを体験できる展示を行った。

期 間：令和元年7月20日～11月10日
入場者数 大人 3,301 人、学生 132 人
小人 2,824 人、幼児 1,278 人



◎ 「西脇市中学生理科の自由研究作品」展

西脇市内の中学校から選ばれた優秀作品を展示。

期 間 令和元年11月23日～令和2年1月26日
入場者数 大人 1,094 人、学生 18 人
小人 573 人、幼児 397 人



◎ 「波のふしぎ」展

水面の波や音、電波など、私たちの身の回りにある波のふしぎにせまる展示を行う。

期 間 令和2年3月20日(金)～6月14日(日)
※ 3月3日から新型コロナウイルス対策のため
臨時休館



(2) ギャラリー

テラ・ドーム 1 階ロビーの壁面を活用し、作品等を展示した。テラ・ドームでの使用がない時期には市民ギャラリーとして開放し、活動発表の場を提供するとともに、入館者に自然の美しさや科学の面白さを伝える場として活用している。

◎ フォト志友写真展

大阪を中心に活動している写真グループによる太陽や風景、人や動物の写真を展示した。

期 間 平成31年 4 月 1 日～4 月30日
資料提供 フォト志友
入場者数 大人 699 人、学生 20 人、
小人 520 人、幼児 319 人



◎ 星空のふしぎ発見展

へそ公園や北はりまの名所で撮影した長時間露光の天体写真を展示した。

期 間 令和元年 5 月 1 日～5 月30日
資料提供 市嶋久資さん（小野市在住）
入場者数 大人 1,064 人、学生 23 人、
小人 796 人、幼児 370 人



◎ 初夏の風展

初夏の風景やホタル、花などの作品を展示した。

期 間 令和元年 6 月 2 日～6 月30日
資料提供 寺尾昭男さん（市内在住）
入場者数 大人 655 人、学生 7 人
小人 476 人、幼児 379 人



◎ 西脇高齢者大学写真講座受講生作品展

高齢者大学写真講座受講生による風景や草花、鳥などの写真を展示した。

期 間 令和元年 9 月 4 日～9 月28日
資料提供 西脇高齢者大学写真講座受講生
入場者数 大人 697 人、学生 12 人
小人 736 人、幼児 229 人



◎ 虫の目になってみたら展

虫の目レンズという特殊なレンズを通して撮影された昆虫の写真を展示した。

期 間 令和元年10月 1 日～10月31日
資料提供 自然となかよしおじさん（市内在住）
入場者数 大人 579 人、学生 16 人
小人 398 人、幼児 292 人



◎ 「宇宙の日」作文・絵画コンテスト優秀作品展

「宇宙の日」作文・絵画コンテストに応募があった作品のうち、入選以上の作品を展示した。

期 間 令和元年10月5日～11月24日
入場者数 大人 972 人、学生 24 人
小人 644 人、幼児 398 人



◎ 「ソラ。 ～S☆R☆～」展

飛行機や風景、天体、鳥など空をテーマにした写真を展示した。

期 間 令和元年11月1日～11月30日
資料提供 清水太郎さん(加古川市在住)
入場者数 大人 483 人、学生 9 人
小人 275 人、幼児 198 人



◎ イロドリ交差点(展)

若手アマチュア写真家4名による自然や風景の写真を展示した。

期 間 令和元年12月1日～12月28日
資料提供 イケメン4
入場者数 大人 488 人、学生 12 人
小人 310 人、幼児 170 人



◎ In Seven Senses展

小野市、加東市等に在住のアマチュア写真家7名による自然や風景の写真を展示した。

期 間 令和2年1月4日～1月30日
資料提供 In Seven Senses
入場者数 大人 525 人、学生 5 人
小人 203 人、幼児 184 人



◎ 小野自然写真の会作品展

小野自然写真の会会員14名による自然や風景の写真を展示。

期 間 令和2年2月1日～2月29日
資料提供 小野自然写真の会
入場者数 大人 525 人、学生 5 人
小人 203 人、幼児 184 人



◎ サイエンス講座受講生作品展

講座受講生の写真や作品を展示予定であったが、臨時休館により中止となった。

期 間 令和2年3月1日～31日
資料提供 大人のためのサイエンス講座

2 各種講座事業

(1) 子ども科学教室

身近な材料を使った実験や工作で、科学の面白さを体験。入館料のみ必要。

日 時：日曜・祝日 13:30～、15:30～

実施日数 70 日 ・参加者数 2,489 人 ・1日平均 35.6 人

月	日	テーマ	人数	月	日	テーマ	人数
4	2	きれいなかざぐるまをつくろう	14	9	22	人工イクラを作ろう	31
	3	〃	28		23	〃	31
	4	〃	35		30	段ボールマグネットを作ろう	33
	5	ストローロケットをとばそう	28	10	6	ダンボールマグネットをつく	52
	7	のぼりむしをつくろう	35		13	世界一簡単なモーター	42
	14	のぼりむしをつくろう	17		14	世界一簡単なモーター	32
	21	プラ板アクセサリをつくろう	34		20	どんぐりのかざりをつくろう	21
	28	〃	46		22	〃	26
	29	ストローロケットをとばそう	60		27	〃	38
	30	〃	51	11	3	トコトコカップをつくろう	43
5	1	折り紙で地球をつくろう	29		4	〃	45
	2	〃	45		10	ふわふわボールを作ろう	38
	3	紙とんぼをとばそう	60		17	〃	13
	4	〃	83		23	木の葉のしおりを作ろう	19
	5	きれいなかざぐるまをつくろ	63		24	〃	28
	6	〃	54	12	1	とびだすカードをつくろう	31
	12	万華鏡をつくろう	60		8	とびだすカードをつくろう	24
	19	〃	36		15	きれいなロウソクをつくろう	36
26	虹スコープをつくろう	25	22		〃	15	
6	2	〃	38	25	ストローロケットをとばそう	17	
	9	ぴよんぴよんがえるをつくろう	56	1	5	ぐにゃぐにゃだこをつくろう	33
	16	〃	49		12	〃	22
	23	ミズスマシボートをつくろう	41		13	CDコマをつくろう	46
	30	〃	11		19	〃	37
7	アメンボスイスイ	25	26		くるくるマグネットをつくろう	36	
7	14	〃	31	2	2	〃	46
	15	ふしぎ?! ういたりしずんだり	53		9	化石のレプリカをつくろう	35
	21	〃	23		11	〃	43
	28	バランストンボをつくろう	34		16	ハンカチを染めよう	15
	8	4	〃		30	23	〃
6		ストローロケットをとばそう	6		24	段ボールつりであそぼう	32
11		紙の輪っかを切ってみよう	21	3	1	〃	中止
12		〃	53		8	つくってとばそう! ねつききゅう	中止
18		ガリガリプロペラをつくろう	16		15	〃	中止
25		〃	15		20	つくってたべよう! でんきパン	中止
9	1	空気砲をつくろう	60		22	〃	中止
	8	〃	42	29	空とぶタネのひみつ	中止	
	15	ゴム鉄砲をつくろう	41				
	16	〃	45				

(2) 夜のスターウォッチング

天文台の81cm反射望遠鏡を使った天体観望会。惑星や星雲星団など、季節ごとの星を見ていただく。曇りや雨の場合はプラネタリウムと天文台の見学で対応する。

日 時：土曜日・休前日 19:30～21:00

※夏休み中は木・金も実施

実施回数 66回 人数 1,402人



(3) 土曜ちょこっとサイエンス

身近な科学を体感していただくことを目的に平成28年度から開始した。ボランティアの協力を得ながら、昔々の火起こし体験やバルーンアートのほか、綿花を使ったアクセサリ作りなどを実施した。

日 時：土曜日 14:00～16:00

実施回数 41回 人数 640人



(4) 親子星空探偵団

天体や身近な自然などを親子で親しむための年間講座。対象は、西脇市内の小学校3年生以上の児童とその家族。

期 間：令和元年6月～令和2年3月 月1回実施

参加者：12家族

内 容

6月9日	開講式、星とホテル	へそ公園
7月7日	作って飛ばそう！ペットボトルロケット	青年の家
8月4日	木星・土星と夏の星を見よう	テラ・ドーム
9月7日 ～8日	星空キャンプ	中畑林間ファミリー園
9月28日	星まつりキラキラくじ	へそ公園 ※雨で中止
11月4日	望遠鏡を使ってみよう	へそ公園
12月14日	キャンドルづくり	テラ・ドーム
1月26日	もちつき大会と冬の星	テラ・ドーム
2月16日	冬のバードウォッチング	へそ公園
3月7日	ハンカチを染めよう	※ 延期



(5) テラ・ドーム科学クラブ

基本的な道具の使い方から工作、実験などを通して、理科に興味のある児童のさらなるレベルアップを図る。

期 間：平成30年5月～平成31年3月 月1回実施

対 象：西脇市内の小学5・6年生

参加者：10人

内 容

5月25日	つかめる水を作ろう
6月15日	輪ゴムで走る車をつくろう
7月20日	錬金術に挑戦
8月31日	洗濯のりの実験
9月23日	土星を見よう
10月26日	からくりボックスを作ろう
11月30日	葉脈しおりをつくろう
12月21日	ガラスの涙を作ろう
1月25日	凧を作ろう
2月22日	電気と磁石の不思議な関係
3月28日	メダルをつくろう ※ 延期



(6) 大人のためのサイエンス講座

自然や科学に興味を持つ大人を対象に、さまざまな内容の講義や実習をとおしてレベルアップを図るとともに、受講生同士のつながりを深め、自主的に活動するグループの育成を目指す。月1回実施。

対 象：高校生以上

参加者：7人

内 容

4月20日	竹林の保全	へそ公園
5月19日	満月を撮ろう	テラ・ドーム
6月15日	川のホタルと山のホタル	多可町 ※雨で中止
7月27日	羽ばたき飛行機の制作	テラ・ドーム
9月1日	木星・土星の観察	テラ・ドーム
9月21日	オーロラジュエリーを作ろう	テラ・ドーム
10月19日	モーターの制作	テラ・ドーム

11月16日	1億分の1の地球を作ろう	テラ・ドーム
12月26日	部分日食の観察	へそ公園 ※雨で中止
1月26日	へそ公園周辺の野鳥観察	へそ公園
2月8日	お天気教室in西脇	テラ・ドーム
3月	中止	



(7) テラ・ドームクイズ

地球、宇宙、自然などに関する4択問題を6問出題。
成績優秀者に天然石か天体写真を進呈。

日 時：日曜・祝日 11:30～
実施回数 60回 参加者 650名



(8) プラネタリウムでの星の学習投影

小学校4年生対象のプラネタリウム学習投影。星の動きと夏の大三角の見つけ方など、教科書に沿った内容で解説を行う。

実施日	学 校 名	学 年	人数
6月21日	西脇市立芳田小学校	4	16
6月28日	西脇市立双葉小学校	4	4
7月12日	西脇市立桜丘小学校	4	12
7月24日	大阪市立大道南小学校	5	67
10月24日	多可町立杉原谷小学校	4	25



(9) 夏休み特別講座「音のふしぎ」

ストローや輪ゴムなど、身近な材料を使って楽器を作り、音のふしぎを体験する講座を行った。

実施日：令和元年8月20日

講師：岡本芳雄さん（ピアノ調律師、加東市在住）

参加者数：20人



(10) お天気教室in西脇

天文と気象、その近くて遠い関係と題し、観測データや衛星画像などを通じて解説した。

実施日：令和2年2月8日

講師：高瀬邦夫さん（にしわき経緯度地球科学館運営委員長、日本気象協会参事）

参加者数：32人



3 出前事業

(1) 出前観望会

学校や宿泊施設に望遠鏡を持ち込んで観望会を行う。原則として学校または公共主催のものに限って行っている。市内は無料、市外は1人200円。

使用機材：45cm反射望遠鏡2台、13cm屈折望遠鏡2台、14cm大型双眼鏡2台、液晶プロジェクター

実施日	団体名	学年	人数	実施場所
5月26日	芳田・比延・双葉小自然学校	5	63	西脇市立青年の家
6月23日	篠山市立古市小学校親子活動	1～6	43	篠山市立古市小学校
7月5日	小野市みやま保育園	園児	8	みやま保育園
9月10日	西脇市立双葉小学校	1～6	35	双葉小学校
9月13日	観月会	一般	40	黒田庄町喜多 福聚寺
3月6日	神河町観光協会	一般	中止	峰山高原ホテルリラクシア
3月13日	神河町観光協会	一般	中止	ホテルモンテローザ
3月27日	神河町観光協会	一般	中止	グリーンエコー笠形



(2) 出前講座

身近な材料を使った実験や工作、天文に関する講座などを出前で行う。学校や公民館等のほか、一人暮らし高齢者食事会でのサイエンスショーなど。

実施日	団 体 名	人数	場 所
5月7日	西脇高齢者大学萩ヶ瀬学園	25	萩ヶ瀬会館
5月9日	西脇高齢者大学黒田庄学園	25	黒っこプラザ
5月16日	芳田地区一人暮らし高齢者食事会	14	芳田ふれあい館
5月26日	加西市立善防公民館わくわく土曜体験教室	27	善防公民館
6月7日	双葉小学校3年生「ホタルの観察」	5	双葉小学校
6月8日	トライやる出前実験教室	120	Miraie
7月5日	加西市白竜こども園七夕まつり	133	白竜こども園
7月11日	比延地区一人暮らし高齢者食事会	40	上比延町公民館
7月13日	加西市富合校区子ども会育成会	35	富合小学校
7月25日	大野隣保館夏休み工作教室	10	大野隣保館
7月26日	芳田ふれあい館夏休み工作教室	8	芳田ふれあい館
7月30日	上野会館夏休み工作教室	8	上野会館
8月30日	西脇市春日こども園5歳児工作教室	39	春日こども園
9月14日	加西市立善防公民館わくわく土曜体験教室	21	善防公民館
10月11日	トライやる出前実験教室	38	Miraie
10月8日	桜丘小6年生出前授業「月と宇宙」		桜丘小
10月16日	小野市立河合中学校出前授業「地球と宇宙」	56	河合中学校
2月20日	重春・野村地区一人暮らし高齢者食事会	100	萩ヶ瀬会館
3月17日	芳田地区一人暮らし高齢者食事会	中止	芳田ふれあい館



(3) 協賛事業

- ・ **多可町こどもまつり**
5月3日(木) 多可町北アリーナ
「ストローロケットをとぼそう」
- ・ **青少年のための科学の祭典 丹波会場**
7月28日(日) 丹波市 ゆめタウン
「折り紙で地球をつくろう」
- ・ **青少年のための科学の祭典 東播磨会場**
8月3日(土)、4日(日) 加古川総合庁舎
「ふしぎなこまをつくろう」
- ・ **織物まつりスタンプラリー**
8月26日(日) 北播磨生活文化総合センター
「かざぐるま・ストローロケット」
- ・ **でんくうまつりブース出展**
9月15日(日) 北はりま田園空間博物館
「ストローロケットをとぼそう」
- ・ **みらフェスブース出展**
10月27日(日) 茜が丘複合施設Miraie
「ストローロケットをとぼそう」
- ・ **都麻の里さわやか交流祭ブース出展**
11月3日(日) 大野隣保館
「きれいなかざぐるまをつくろう」
- ・ **芳田の里ふれあいまつりブース出展**
11月10日(日) 芳田ふれあい館
「きれいなかざぐるまをつくろう」



4 普及事業

(1) プラネタコンサート

へそ公園のコンセプトである「科学と芸術の融合」を具体化するとともに、テラ・ドームを市民の活動や交流の場として活用していただくために企画した。出演者は随時募集し、内容、時間等調整の上行う。コンサート終了後、希望者は有料でスターウォッチングに参加していただく。

日 時：スターウォッチング実施日の18:45～19:15

場 所：映像ホール

入 場 料：無料

	実施日	出演者	内容	人数
第26回	4月13日	久保ふみ・山本英恵	弦楽二重奏	37
第27回	5月25日	あみこるぼ	オカリナ	57
第28回	6月8日	紀文浪漫	バイオリン	41
第29回	7月6日	リコーダーアンサンブルおもちゃ箱	リコーダー	46

第30回	9月21日	今日は6人	バンド演奏	44
第31回	10月26日	ふろっぐえこうず	合唱	59
第32回	11月16日	グループアンダンテ	合唱	48
第33回	12月7日	ひやさとバンド	バンド演奏	24
第34回	1月18日	SASAYAITE	合唱	25
第35回	2月8日	3CAPO	女性デュオ	15
第36回	3月28日	蓄音機で奏でる名曲の世界	蓄音機	中止

(2) アポロ11号月面着陸50周年記念行事

アポロ11号の月面着陸から50周年を迎えるのを記念して、写真展とおはなし会を実施した。

○写真展

期 間：令和元年7月20日(土)～9月29日(日)

場 所：映像ホール前ギャラリー

○おはなし会

日 時：令和元年7月20日(土) 18:30～19:30

場 所：映像ホール

内 容：宮沢賢治作「銀河鉄道の夜」、

ブライアン・フロッカ作「月へ～アポロ11号の遙かなる旅」の朗読

出 演：西脇市図書館ボランティアTEN-TOUS、くろまめいと、

西山枝里(バイオリン)

参加者数：27人

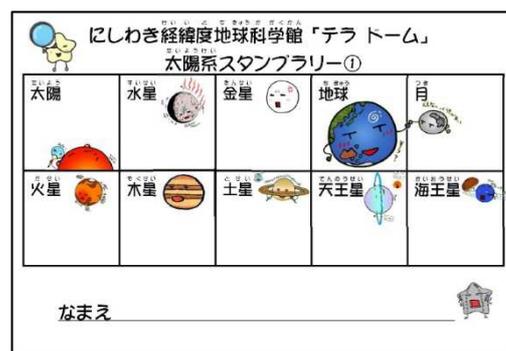


(3) 太陽系スタンプラリー

天文台のリピーター確保のため、太陽系の惑星と太陽、月を見てスタンプを集める「太陽系スタンプラリー」を始めた。スタンプがすべてそろくと記念品を贈呈する。

期 間：令和元年7月20日(土)から

対 象：夜のスターウォッチング参加者



(4) プラネタおはなし会

プラネタリウムのドーム内に絵本の画像を投影しながら朗読を行うおはなし会を実施した。

日 時：令和元年7月27日(土)、8月3日(土)、

17日(土)、24日(土)、31日(土)

13:30～(約25分間)

場 所：映像ホール

内 容：谷川俊太郎作「ほしにむすばれて」、

佐藤勝彦作「眠れなくなる宇宙のはなし」



協 力：西脇市図書館ボランティアTEN-TOUS

参加者数：41人

(5) テラ・ドーム星まつり

ひとりでも多くの方に星空に親しむ時間を持っていただくため、毎年行っているが、今年度は正午の段階で降雨予報が出ていたため、中止と判断した。

当日、中止を知らずに来られた方を対象に、科学館を無料開放し、工作等を行ったところ、96人の参加があった。

日 時：令和元年9月28日(土) 18:30～21:30

場 所：へそ公園 銀河の広場

内 容

- ・交流観望会 加古川宇宙科学同好会 (K S S)
八鹿ぼしをみつけようかい
兵庫県立舞子高校天文気象部
日本のへそ☆西脇天文同好会
- ・ステージ 吹奏楽 (西脇東中学校吹奏楽部、黒田庄中学校吹奏楽部)
よさこい踊り (放課後子どもよさこい教室)
ハンドベル演奏 (リトルフラワーベル)
- ・夜 店 子ども茶席 (子ども茶道教室)
ボールすくい、輪投げ、宝石すくい (にしわきっ子じんけん教室)
焼きそば (ええまち比也野里)
焼きいも (テラ・サポート)
キラキラくじ (テラ・ドーム親子星空探偵団)
テラ・ドームグッズ販売
- ・抽 選 会 天体望遠鏡やアウトドア用品など
- ・協 力 兵庫県立西脇高等学校地学部・放送部
兵庫県立西脇北高等学校ボランティア部



(6) 特別観望会「部分日食を見よう」

1月6日に引き続き、今年2回目の部分日食の観望会を企画したが、当日は雨天となり中止した。

日 時：令和元年12月26日(木) 14:15～16:30

場 所：日本へそ公園野外ステージ付近

イベント情報

輪ゴムであそぼう展

身近な素材「輪ゴム」の性質を使っていろいろなあそぼう！
夏休みの工作のヒントもたくさんあります。

★ 7月20日(土)～11月10日(日)
★ 場所：テラ・ドーム企画展示室
★ 入館料だけで見られます。

フラネタおはなし会

★ ほしにむすばれて・眠れなくなる宇宙の話
★ 8月3日・17日・24日・31日 14:00～14:30
★ 入館料だけで見られます。

テラ・ドームギャラリー

8月 高山に吹く花火展
9月 西脇高齢者大学写真展
10月 宇宙の日作文絵画作品展
★ ギャラリーのみの見学は無料ですが、展示室の見学には入館料が必要です。

フラネタコンサート 入場無料!!

9/21 今日5人(バンド)
10/26 ぶろっくえこごす(合唱)
● 18:45～19:15
● 定員30名(先着順)

土曜ちよこっこサイエンス

テーマは「体感」。音叉の火おこし体験や、パルンアート、綿の実を使った人形づくりなどで、科学の不思議を体感しよう！

★ 毎週土曜日 14:00～16:00
★ 内容は週ごとにかわります

休館日について

テラ・ドームの休館日は月曜日(祝日の場合は開館)と祝日の翌日(土日祝の場合は開館)です。
8月13日(火)は、お盆のため臨時開館します。
夏休み、涼しいテラ・ドームで楽しい時間を過ごしてください。

● 開館時間 10:00～18:00
● 休館日：月曜日・祝日の翌日(土日祝は開館)
● 入館料：大人510円・学生200円・小中学生100円

子ども科学教室

身近な材料を使った実験や工作で科学のしるしを体験しよう！入館料だけでご参加いただけます。(先着30名)

日曜・祝日 13:30～・15:30～

7/28-8/4 バランストンをつくろう
8/11-12 紙の輪っか切ってみよう
8/18-25 ガリガリロボをつくろう
9/1-8 空気砲をつくろう
9/15-16 ゴム鉄砲をつくろう
9/22-23 人エイクラをつくろう
9/30-10/8 敵ボールマグネットをつくろう
10/13-14 世界一かんたんモーター
10/20-27 どんぐりのかざりをつくろう

夜のスターウォッチング

81cm大型反射望遠鏡でいろいろの星を見てみよう！

★ 土曜日・祝前日(夏休みは木・金も実施します！)
19:30～21:00
★ 参加費：1人200円(幼児は無料)
★ 定員：25名(先着順)
★ 要電話予約(当日でも可)
※ 悪天候の場合はフラネタリウムと星のお話です

みどころ：木星、土星、おひめ星、リング星雲、球状星団M13など

テラ・ドーム通信「星空の交差点」

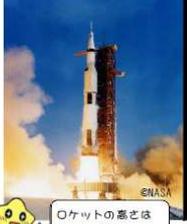
2019年8月号
にしわき経典堂地球科学館「テラ・ドーム」
TEL. 0795-23-2772
<http://www.nishiwaki-os.or.jp/terra/>

テラ・ドーム通信

星空の交差点

アポロ11号月面着陸から50年

1969年7月20日、アポロ11号が月面に着陸し、人類は初めて地球以外の天体に降り立ちました。それから50年、宇宙は身近になりましたが、月に立った人類は、アポロ計画の12人だけなのです。今回は、その偉大な功績をご紹介します。



ロケットの高さは110メートル!!



着陸船は空母みたいな形だね!



足跡くっきり!

月面には空気がないので、宇宙服という特別な服を着ています。宇宙服は小さな宇宙船とも言われています。

テラ・ドームみどころ紹介

はやぶさの世界をのぞいてみよう

7月11日、小惑星リュウグウを探索しているはやぶさ2が2回目の着陸に成功しました。たくさん石が舞い上がる様子がカメラに写っていたことから、小惑星のけらを採取できたのではないかと期待が高まっています。2020年未だに地球に帰ってくるのが楽しみですね。

世界で初めて小惑星のけらを持って帰ってきた初代はやぶさは、着陸の失敗やエンジンの故障など、様々なトラブルを乗り越えて、何とか地球に帰ってきました。運用にあたった人たちの努力を描いた映画やドラマが作られ、とても話題になりましたね。西脇市出身のイラストレーター、吉田裕美さんもはやぶさの活躍に感動し、はやぶさのピープショーをテラ・ドームのために描いてくださいました。のぞき穴から見ると、地球をバックにははやぶさやイトカワなどがゆらゆらと立体的に浮かび上がり、宇宙にいるように感じます。ぜひのぞいてみてください。




白木のヘビシボルマークや所蔵駅車の列車も吉田さんの作図です

へそ公園周辺の植物

ヒガンバナ(ヒガンバナ科)

ヒガンバナは、毎年お彼岸の時期にゆんぼの群を赤く染めて秋の訪れを告げる花です。花の根元を見てみると、葉がありません。花のあとに葉が返るので、次の年の春に葉が花れて、秋に球根から花だけが出てくるのです。美しい花ですが、ヒガンバナには毒があり、間違っても食べると中毒を起しますので気をつけましょう。

☆宇宙服クイズ☆

第1問 スバリ、宇宙服1着のお値段は?
①1億円 ②10億円 ③100億円

第2問 宇宙服は何枚の布で作られているでしょう?
①7枚 ②14枚 ③28枚

第3問 体温調整のために着る「冷却下着」に使われている素材の長さはどれくらい?
①10m ②50m ③90m

第4問 宇宙服のリックみたいなところに入っているのはどれ?
①酸素 ②おやつ ③飲み水

こたえはうらにあるよ

星空のみどころ 8月～10月

● 8月7日 伝統的七夕

七夕と言えば7月7日ですが、正しくは旧暦の七月七日で、今年は8月7日です。このころには梅雨も明け、星が見える日が多くなります。午後9時ごろ、頭の真上に光っている明るい星がおりひめ星です。おりひめ星から南東の方に見える少し暗い星が彦星です。ふたつの星の間にある天の川は、とても暗い星の集まりで、街明かりのあるところでは見ることができません。皆さんも少しの間電気を消して七夕の星を探してみてください。

● 9月13日 中秋の名月

旧暦の八月十五日に見える月を「中秋の名月」と呼び、お月見をする風習があります。月がのぼってくるのを見ていると、意外に早く動いているのに驚かされます。月が動いて見えるのは、地球が自転しているためです。1日に1周というゆっくりな動きですが、地球はとても大きいので、西脇市のある東経135度では、時速1,370kmで西から東に回っていることになりました。山や建物と月を一緒に眺め、地球の自転を感じてみてください。

● 10月 天の川

真の大三角のひとつ、わし座のアルタイルの南側に、天の川がひとときよく見える部分があります。このあたりが戦いに使う星をかたどった「たて座」です。その中にある散開星団M11は、数百年の恒星が集まっているところ。星団の中心部では、星どうしの距離が1光年以下とても密着しているため、星団の中に入ると、空には1等星よりも明るい星がたくさん輝いて見えます。テラ・ドームの望遠鏡では画面いっぱい星がらばめられたように見え、とてもきれいです。

イベント情報

「波のふしぎ」展

波は私たちの身の回りにあふれています。海の波や水面の波紋、そして音や電波なども波です。いろいろな展示を通して波のふしぎにせまってみよう!

- ★ 3月20日(金)～6月14日(日)
- ★ 場所: テラ・ドーム企画展示室
- ★ 入館料だけで見られます。

テラ・ドームギャラリー

- 2月 小野自然写真の作品展
- 3月 サイエンス講座作品展
- 4月 竹内洋行写真展

★ ギャラリーのみの見学は無料ですが、展示室の見学には入館料が必要ですよ。

プラネタリウム

2/8 3CAPO
3/28 番音曲が美でくる名曲の世界
4/4 てんとう虫とくるまめいと
●18:45～19:15
●定員30名(先着順)

土曜ちよこっとサイエンス

テーマは「体感」。音叉の火おこし体験や、バルーンアート、綿の実を使った人形づくりなどで、科学の不思議を体感しよう!

- ★ 毎週土曜日 14:00～16:00
- ★ 内容は選べません

ゴールデンウィークの開館について

ゴールデンウィークの休館日とイベント内容は下記のとおりです。ぜひテラ・ドームで楽しい時間を過ごしてください。

4/28	29	30	5/1	2	3	4	5	6	7
科学教室	×	×	×	×	○	○	○	○	休
プラネタリウム	×	×	×	×	○	○	○	○	休

クイズのこたえ 1-② 2-② 3-① 4-②

●開館時間 10:00～18:00
●休館日: 月曜日・祝日の翌日(土日祝は開館)
●入館料: 大人510円・学生200円・小中学生100円

子ども科学教室

身近な材料を使った実験や工作で科学のふしぎを体験しよう! 入館料だけでご参加いただけます。(先着30名)

日曜・祝日 13:30～15:30～

- 1/24・2/2 くるくるマグネットをつくろう
- 2/9・11 化石のレプリカをつくろう
- 2/16・23 ハンカチを染めよう
- 2/24・3/1 酸ボールついであそぼう
- 3/8・15 つくってばそら! ねつつきゅう
- 3/20・22 つくってたべよう! でんきパン
- 3/28・4/5 空とぶタネのひみつ
- 4/12・19 くるくるボールをつくろう
- 4/26・29 ふしぎなこまをつくろう

夜のスターウォッチング

0100大型反射望遠鏡でいろいろな星を見てみよう!

★土曜日・祝前日 19:30～21:00
★1人200円(幼児は無料)
★要電話予約(当日でも可)
※ 悪天候の場合はプラネタリウムと星のお話です
※ とても寒いので防寒具をご用意ください

みどころ: ベテルギウス、シリウス、すばる、オリオン星雲、惑星状星雲NGC2392など

テラ・ドーム通信「星空の交差点」

2020年2月号

にしき館 鹿児島地球科学館「テラ・ドーム」
TEL 0795-23-2772
http://www.nishiki-waki-os.or.jp/terra/

2020年2月号

テラ・ドーム通信

星空の交差点

太陽系外からの訪問者

2017年10月、ハワイにあるハブスターズ望遠鏡が高速で移動する星を発見しました。ハワイ語で「遠くから来た初めての訪問者」を表す「オウムアムア」と名付けられたその星は、観測の結果、初めて見つかった太陽系外からの天体であることがわかりました。そして、2019年8月に見つかったボリソフ彗星も太陽系外から来たと考えられています。今回は、太陽系外からの訪問者を紹介します。

オウムアムアの観測画像

観測されたオウムアムアの軌道

オウムアムアの軌道

「オウムアムア」は、観測された軌道から、長さは約400メートル、幅は約10メートルと推定されています。

「ボリソフ彗星」は、太陽系外から来たと考えられています。

「オウムアムア」は、観測された軌道から、長さは約400メートル、幅は約10メートルと推定されています。

「ボリソフ彗星」は、太陽系外から来たと考えられています。

星空のみどころ 2月～4月

●宵の明星、金星の満ち欠け

去年の12月ごろから夕方の西空に輝いて見える「宵の明星」金星、自ら明るく照らして見えてくれるのですが、望遠鏡で見ると、月のように欠けて見えます。金星は地球と同じように丸い形をしています。太陽の光を受けて光っている部分、光の当たらない夜の部分が欠けて見えます。また、位置によって地球との距離も変わるため、大きさも変わります。テラ・ドームの星の天体観測で、夜空の中に光る金星の姿を見ていただくことができます。ぜひ形の変化を見に来てください。

金星の形と大きさの変化

●オリオン座に真夜中!? ベテルギウスが暗い

オリオン座は、赤い1等星ベテルギウスと白い1等星リゲルが三つ星をはさんで輝くとも見つけやすい星座です。このオリオン座に最近真夜中に見えるのを皆さんは知っていますか? ふたつの1等星のうち、赤い方のベテルギウスがとても暗くなっているのです。以前からベテルギウスは近い将来に超新星爆発を起こし、その一生を終えるだろうと言われていましたが、その前兆ではないかと考える天文学者もいます。ただし、近い将来と言っても、天文学的の数字の世界ですから、明日かもしれないし、100万年後かもしれません。もし超新星爆発が起れば、半月ほどの明るさに輝くと予想されています。輝いた日はオリオン座を眺めてみてください。歴史的瞬間に出会えるかもしれません。

●4月8日(水) 今年いちばん大きい満月

地球を回る月の軌道は、まん丸ではなく楕円形です。このため、1周する間に地球に近いより遠ざかったりします。最近では、地球に近い側の満月を「スーパームーン」と呼んだりします。2017年の最大と最小の満月を比べてみると、右の写真のようになります。並べてみるとずいぶん違って見えますが、地平線に近いところにある月が目の錯覚でふだんの満月も大きく感じることがあると、意外と差がないですね。今年いちばん小さな満月は10月31日ですので、同じ条件で写真を撮って比べてみてください。

●星空の宝石箱⑥ おおいぬ座のシリウス

オリオン座の三つ星を左下に伸ばした先に、とても明るい星が見つかります。この星は、太陽以外の恒星で最も明るいシリウスです。冷たい夜の夜空にキラキラとまぶたを刺すようにも印象的です。太陽のような恒星は、温度によって色が変わります。太陽の表面温度が約6,000度くらいなのに対し、シリウスは約1万度ほどです。テラ・ドームの夜のスターウォッチングでも見ることがあります。まばゆい輝きをぜひ見に来てください。

この春、テラ・ドームがもっと親しみやすい場所になります!

4月1日から、テラ・ドームの入館料が変わります。

① 大人料金の改正

- ★ 大人 510円 → 400円
- ★ 大人団体 410円 → 300円

② シルバー料金の新設

- ★ シルバー 大人300円、団体250円
- ★ 65歳以上の方

③ 家族で学ぼう!

大人、シルバー1名につき小学生2名まで入館料無料です!!

④ 何度でも利用しよう

年パスポートで科学教室やスターウォッチングに何度でも参加できます!!

区分	大人	シルバー	高校・大学生	小・中学生	幼児
個人	400円	300円	200円	100円	無料
団体	300円	250円	150円	70円	無料
年パスポート	1,000円	800円	600円	400円	—

※ 団体は20名以上
※ シルバーは65歳以上(免許証など年齢を証明できるものが必要)
※ 大人、シルバー1名につき小学生2名まで小中学生入館無料(パスポート、団体利用の場合を除く)
※ 年パスポートの提示で、入館料とスターウォッチングの参加費が無料になります
※ 年パスポートは購入した日から1年間有効です
※ 年パスポートの他人への貸出や譲渡、転売は無効です

へそ公園周辺の植物

コメツツメクサ(マメ科)

ヨーロッパから西アジア原産の帰化植物で、道ばたや河原などにまわって生えます。へそ公園の芝生でも直径1センチほどの小さな丸い花をよく見かけます。よく見ると、シロツメクサと同じように、マメ科独特の形をした小さな花が丸く集まっているのがわかります。もし見かけたら虫メガネで拡大してみてください。

☆はやぶさ2クイズ☆

はやぶさ2が探査をした小惑星はどれ?
①イトカワ ②リュウグウ ③オニシマ

その小惑星の太陽からの距離は?
①海王星くらい ②土星くらい ③火星くらい

その小惑星に本当にあるクレーターは?
①ワラシマ ②ワミガキ ③オトヒメ

今年、地球に帰ってくるはやぶさ2はどうなる予定?
①地球に帰陸する ②大気圏で燃え尽きる ③地球を通り過ぎる

- 16 -

5 研修等の受け入れ

(1) トライやる・ウィーク

太陽観測、望遠鏡の使い方、天体の解説、へそ公園内での青空実験教室などを体験。

6月4日～8日 西脇市内中学校より7名

10月8日～12日 加東市中学校より4名



(2) 教職員研修等

7月27日～28日 西脇南中学校初任者研修 1名

8月2日 東播地区小学校理科担当者会夏季研修 41名

8月4日・9日 兵庫県立小野高等学校インターンシップ 1名

12月21日 島根県立三瓶自然館天体観測視察 3名



6 他施設との連携事業

(1) 日本公開天文台協会（JAPOS）全国大会への参加

第14回全国大会に参加し、他施設職員との意見交換を行った。

期 日：令和元年6月24日(月)～26日(水)

場 所：鹿児島県都城市 たちばな天文台

(2) はりま宇宙講座

県内のアマチュア天文家や天文施設職員が実行委員となり行われている、星のソムリエ®資格取得のための講座。今年度当館では「望遠鏡を使ってみよう」と「星空案内の実際」講座を実施。

日 時：令和元年10月27日(日)・令和元年12月15日(日) 16:30～21:00

場 所：地球科学館

参加者数：17名



(3) ひょうごミュージアムフェア

兵庫県博物館協会に加盟している博物館の合同イベント。「ふしぎなこまをつくろう」のブースを出展し、テラ・ドームのPRを行った。

期 日：令和2年1月18日(土)～19日(日)

場 所：イオンモール姫路リバーシティー

参 加 者：625名(2日間)



(4) 第10回星なかまの集い

星なかまの集いは、兵庫県内のアマチュア天文家や天文施設職員などからなる実行委員会が主催する天文ファンの交流イベントで、当館も第1回大会から実行委員として参加している。

期 日：令和2年2月29日(土)～3月1日(日)

場 所：兵庫県立大学西はりま天文台

※ 新型コロナウイルス対策のため中止

7 その他の事業

(1) ふるさと納税天文台貸切対応

西脇市へのふるさと納税のお礼として、天文台を貸切で使っていただくプランを設定した。ロイヤルホテルに宿泊し、夕食後にテラ・ドームの天文台でスターウォッチングをしていただく。原則として1時間半程度。希望があれば写真撮影等にも対応する。

・令和元年度実施回数：6回 ・人数 25人

(2) 「宇宙の日」作文・絵画コンテスト

日本宇宙フォーラムの主催で行われている作文絵画コンテストに今年度も参加した。今年は学校からの応募がなく、出品点数が非常に少なかった。

小学生絵画の部 応募点数2点中2点を展示

作品展 令和元年10月5日(土)～11月24日(日) 地球科学館1階ロビー

(3) 日野北バイパス星の看板設置

「星の遊歩道」として使われていた旧鍛冶屋線跡地が道路整備され、日野北バイパスとして11月16日に開通した。従来遊歩道に設置されていた星座マンホールを再利用し、季節ごとの星座解説看板を設置した。



(4) 兵庫県立西脇高等学校との連携

西脇高等学校から天文に関する研究テーマの相談を受けて、観測の補助や資料の提供を随時行う予定。また、高校の天文台に設置されている望遠鏡の調整と、使い方の説明を行った。



(5) 新型コロナウイルス対策臨時休館

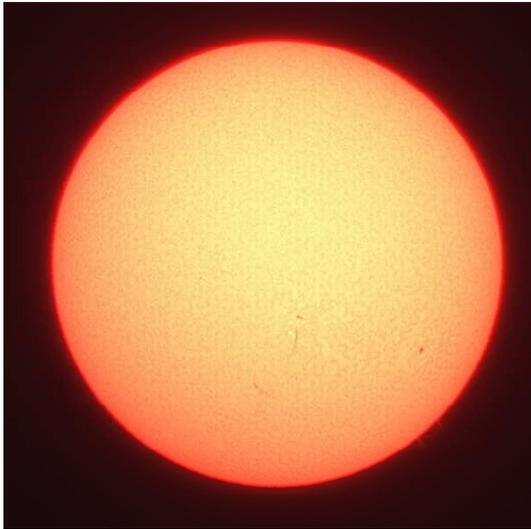
新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、3月3日から臨時休館となった。期間中は全ての行事を中止した。

8 観測・記録・研究活動

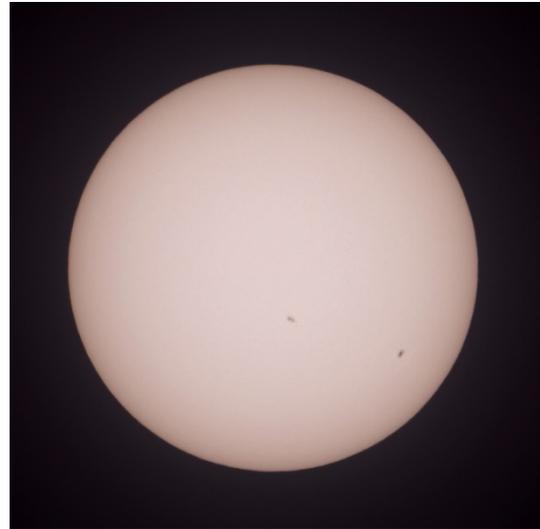
(1) 太陽観測

天文台の太陽望遠鏡を用いたH α 光と、白色光による写真撮影を継続的に行っている。

・平成31・令和元年度観測日数 75 日



H α 光による観測画像 (5/9)

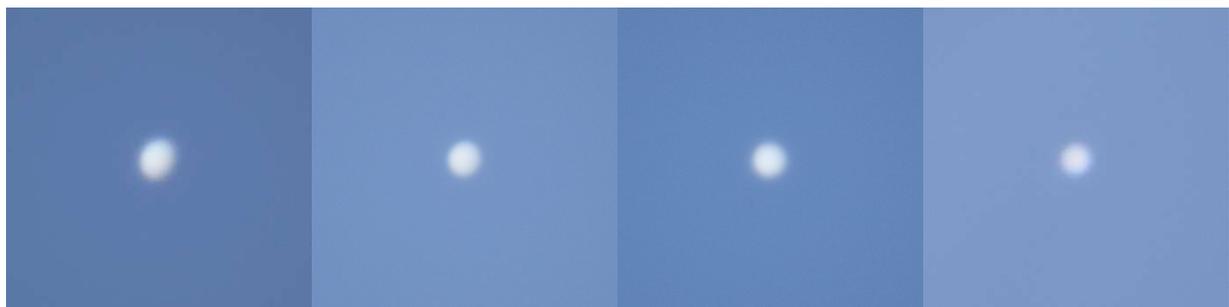


白色光による観測画像 (5/9)

(2) 金星観測

81cm反射望遠鏡を使い、金星の継続的な観測を行った。同じ条件で撮影し、金星の形と大きさの変化を記録することで、教育的資料として活用できる。

・平成31・令和元年度観測日数 129 日



4月20日

5月23日

6月25日

7月24日



8月25日

9月23日

10月31日

11月23日



12月25日

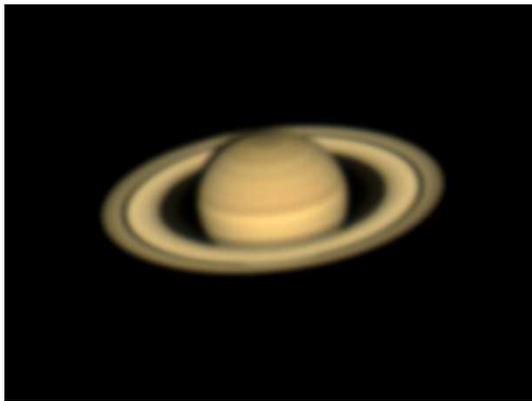
1月26日

2月24日

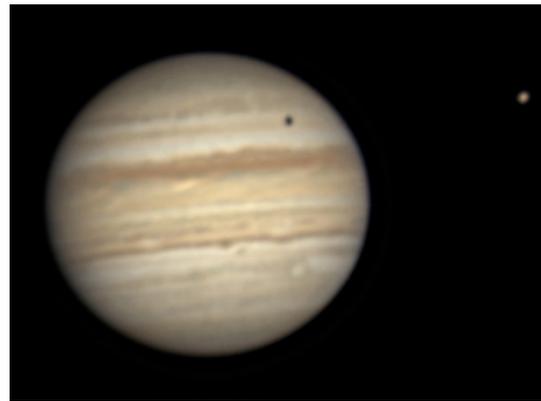
3月25日

(3) 月、惑星、人工衛星等の観測

月や惑星、星食、人工衛星等の写真撮影を随時行っている。



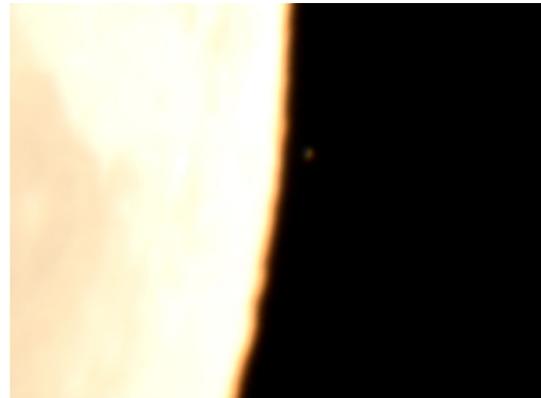
土星 (8/1 81cm反射望遠鏡)



木星 (8/7 81cm反射望遠鏡)



渦巻銀河 M51 (4/25 81cm 反射望遠鏡)



おうし座 ϵ 星食 (3/2 81cm 反射望遠鏡)



月、金星、木星の接近 (11/29)



シリウスと伴星 (3/18 81cm 反射望遠鏡)

(4) 動植物・気象現象等の観察と記録

西脇市周辺で見られる動植物や気象現象の観察および写真撮影を随時行った。



ニホンジカ (5/25 ヘそ公園)



ゲンジボタル (6/5 市内)



花粉光環 (6/14)



クルマバナ (10/21 丹波市)



ビンズイ (12/20 ヘそ公園)



メジロ (3/7 上比延友遊公園)

9 報道等

(1) 読売テレビ「大阪ほんわかテレビ」

摩訶不思議現象大解明SPというコーナーで館内の展示物「雨粒のダンス」が取り上げられた。合わせて、簡単な施設紹介で天文台の公開と子ども科学教室が放映された。

放送日時：令和元年10月27日(日)



小野の元校長、市嶋さん

星の軌跡を活写

夕闇などの10点展示

脇 小野市立児童館チヤイコム前館長の市嶋久資さん(66)は、小野市黒川町に、しわざ経緯度地球科学館「テラ・ドーム」(西脇市上比延町)で、天体写真を展示している。さまざまな方向から撮った星の軌跡が

夕闇や夕焼けに映え、訪れた人を魅了している。市嶋さんは小学校教師を長年勤めた後、小野特別支援学校校長を経て児童館チヤイコム館長に。3月末で退職し、現在は30年以上続ける写真撮影に打ち込む。作品展は、昨年6月にあ

つた開館25周年記念の「みんなの天体写真展」に応募したのがきっかけ。市嶋さんによるペルセウス座流星群の写真に感心した大西秀夫館長(69)から開催を打診された。展示する10点のうち6点は同館がある日本へそ公園で撮ったもの。同館横にある横尾忠則さん制作のオブジェと星の軌跡も絡めて撮影。最も気に入っているのは三木市吉川町の黒滝の上に昇る金星の写真で、夕焼けの空に金星が力強い軌跡

夏の星座など 望遠鏡で観察

毎年、千人近くの親子連れらでにぎわう。観望会では西脇高校地学部や県内の同好会が持ち寄った望遠鏡約20台が並び、夏の星座や土星などが観察できる。午後6時半〜9時半、テラ・ドーム星まつりがある。天文愛好家による天体観望会のほか、吹奏楽やハンドベルのステージがあり、夜店なども並ぶ。

西脇市上比延町の日本へそ公園芝生広場などで28日午後6時半〜9時半、テラ・ドーム星まつりがある。天文愛好家による天体観望会のほか、吹奏楽やハンドベルのステージがあり、夜店なども並ぶ。

795・233・2772

神戸新聞 9月27日



金星の写真を手に説明する市嶋久資さん
=テラ・ドーム

を描いている。神戸新聞の「読者の報道写真コンテスト」で入賞するなどした3点も並ぶ。

高校入試を想定した星にまつわるクイズ20問も掲示し、中学生が写真を見ながら学ぶこともできる。

市嶋さんは「星の軌跡を学ぶことで、理科に興味を持つてもらえれば」と話す。31日まで。月曜休館。同館 ☎0795・233・2772 (笠原次郎)

東京パラリンピックの聖火リレー採火式

東京パラリンピック（8月25日～9月6日）を盛り上げようと、兵庫県内の36市町で8月中旬、開かれる聖火リレーの採火式。北播磨では、西脇市で採火され

た火が障害者らの手で三木、加西、加東の各市と多可町に運ばれ、福祉施設などで展示される。小野市は独自に採火式を行う。（27面参照）

西脇で8月13日、展示も

北播3市1町に分灯 小野は独自に



西脇市は8月13日午前10時から、日本へそ公園（上比延町）で採火式を開催。太陽光をおわん形の採火装置で一点に集め、五輪トーチに点火する。これらの火を三木、加西、加東、多可から集まった市

神戸新聞 2月7日

兵庫県民だより 3月号

園内にしわき経緯度地球科学館テラ・ドームや市役所、市茜が丘複合施設みらいえ（野村町）などでの展示が予定されている。一方、小野市はひまわりの丘公園（浄谷町）で同日午後1時半から、障害者数人が参加し、市障害者福祉協会の大田正美会長が太陽光から火をおこす。ランタンに入れられた火は、5月に移転予定の市役所新庁舎（中島町）1階ロビーに設置される。北播磨をはじめ県内各市町で採られた火は同17日、神戸市須磨区の神戸総合運動公園ユニバー記念競技場で開かれる「集火式」に持ち込まれ、全市町分を合わせて「兵庫県火」となる。その火は開催地の東京へと送り出され、聖火リレーに使われる。（菅原次郎）

獅子銀 小野店
0794-8863800

3 日本へそ公園

園内に駅がある全国でも珍しい公園。駅前の「西脇市岡之山美術館」は列車車両をイメージしたユニークな外観で、企画展を年3回開催。にしわき経緯度地球科学館「テラ・ドーム」には天文台やプラネタリウムがあり、地球と宇宙について楽しく学べます。

西脇市上比延町 無料（美術館、科学館は有料） 無休（美術館、科学館は月曜（祝休日の場合は翌日））

（美術館）☎0795(23)6223（科学館）☎0795(23)2772 ☎0795(23)3110

美術館・科学館の受付で「日本のへそ」到達証明書を受け、販売中（100円）。

11時～17時の毎時0分から 昼の天体観測会を開催しています★

織新

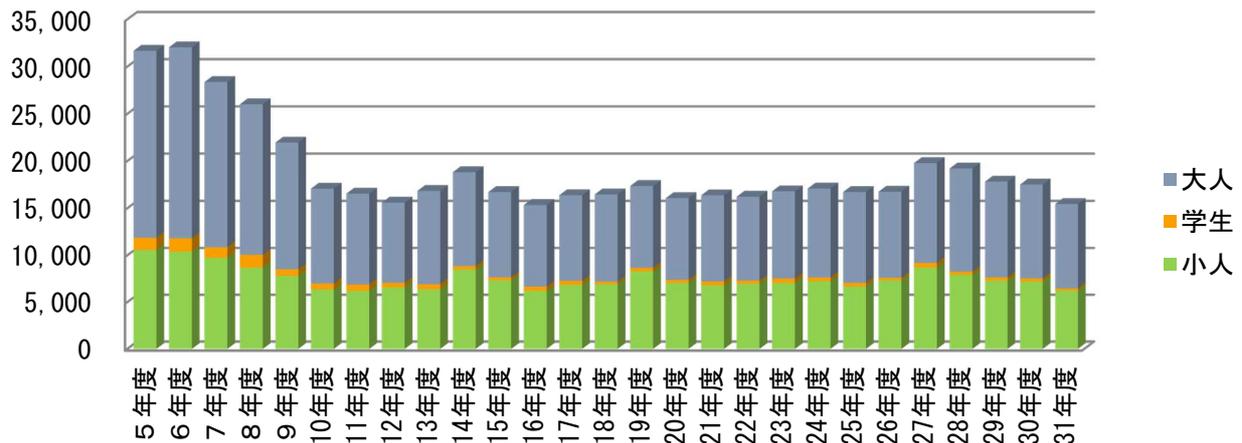
10 施設利用状況

(1) 平成 31・令和元年度月別利用者数（出前、イベント参加者等を含む）

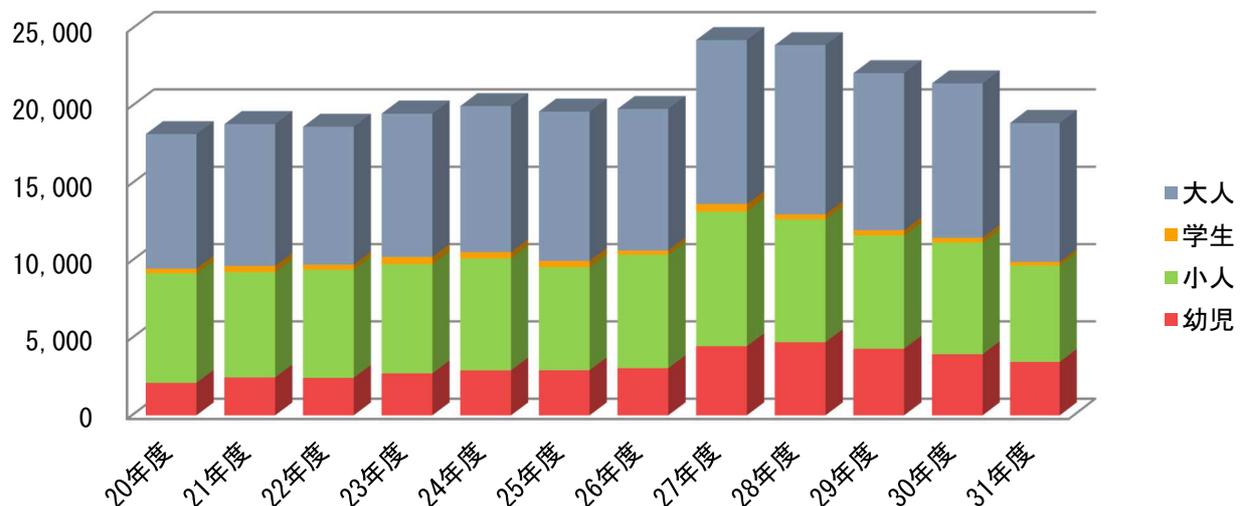
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入館者数	大人	699	1,070	692	690	1,319	837	579	483	488	534	669	9	8,069
	学生	20	23	7	17	85	15	16	9	12	5	24	0	233
	小人	520	796	492	509	1,139	807	398	275	310	203	282	3	5,734
	幼児	319	370	400	402	508	287	292	198	170	185	175	3	3,309
	小計	1,558	2,259	1,591	1,618	3,051	1,946	1,285	965	980	927	1,150	15	17,345
天体観測参加者数	大人	47	110	98	66	96	176	98	104	53	40	32	0	920
	学生	0	0	0	0	4	0	0	1	0	0	0	0	5
	小人	14	150	56	26	69	94	22	43	3	11	5	0	493
	幼児	9	9	15	8	19	46	8	12	4	7	4	0	141
	小計	70	269	169	100	188	316	128	160	60	58	41	0	1,559
利用者数	大人	746	1,180	790	756	1,415	1,013	677	587	541	574	701	9	8,989
	学生	20	23	7	17	89	15	16	10	12	5	24	0	238
	小人	534	946	548	535	1,208	901	420	318	313	214	287	3	6,227
	幼児	328	379	415	410	527	333	300	210	174	192	179	3	3,450
	計	1,628	2,528	1,760	1,718	3,239	2,262	1,413	1,125	1,040	985	1,191	15	18,904
開館日数	26	26	26	26	28	25	26	26	26	24	24	24	1	282

(2) 年度別利用者数

年度別利用者数（幼児を除く）



年度別利用者数（幼児含む H20～）



11 施設利用案内

★ 開館時間 午前 10 時から午後 6 時（入館は午後 5 時 30 分まで）

★ 休館日 月曜日、祝日の翌日（その日が土日祝日の場合を除く）
年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）

★ 入館料

区 分	大 人	学 生	小中学生
個 人	5 1 0 円	2 0 0 円	1 0 0 円
団 体	4 1 0 円	1 5 0 円	7 0 円

★ 岡之山美術館との共通入館料

区 分	大 人	学 生	小中学生
個 人	6 2 0 円	3 0 0 円	1 5 0 円
団 体	5 2 0 円	2 0 0 円	1 0 0 円

★ 設 置 者 西脇市

★ 管 理 者 公益財団法人西脇市文化・スポーツ振興財団

にしわき経緯度地球科学館平成 31・令和元年度事業報告

令和 2 年 4 月

公益財団法人西脇市文化・スポーツ振興財団
にしわき経緯度地球科学館

にしわき経緯度地球科学館「テラ・ドーム」
〒677-0039 兵庫県西脇市上比延町 334-2
TEL 0795-23-2772 / FAX 0795-23-3110